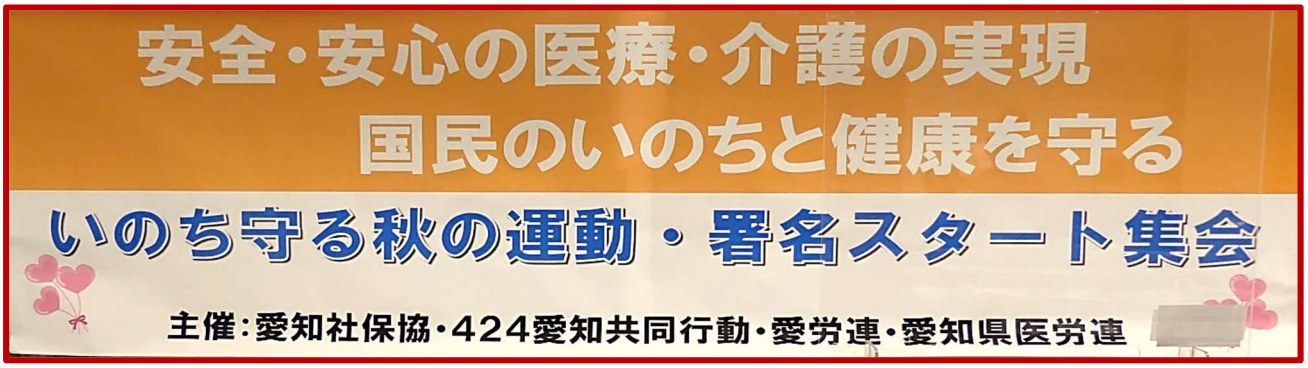
愛知社保協ニュース

2020 年 9 月 8 日　No.183

発行： 愛知県社会保障推進協議会　TEL:052-889-6921　FAX:052-889-6931
E-mail：syahokyo@airoren.gr.jp　ホームページ　http://syahokyo.airoren.gr.jp/

《公立公的病院等再編･統合阻止　424 愛知共同行動通信 NO64 より》



９月６日午後、労働会館会議室にて『いのち守る秋の運動・署名スタート集会』が開催され、各組織から６６名が参加しました。　集会では、愛知社保協小松事務局長から「情勢と秋の運動報告」を受け、各組織から、実態と運動報告を行い、秋の運動交流を行いました。

愛知社保協　小松事務局長

安倍首相の辞任を受けた新首相が決まっても、安倍政治を継承して社会保保障抑制･削減の政治は変わらないだろう!「全世代型社会保障」によるさらなる社会保障総改悪が目白押し。「地域医療」の改悪、「国民健康保険」の改悪、「介護保険制度」の改悪、「年金制度」の改悪、様々な悪法を阻止するため、『安全･安心の医療･介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名を軸に、それぞれの団体が取り組む署名や運動を結び付け、秋の総行動に奮闘しよう!

424　愛知共同行動　長尾事務局長

昨年9月に全国の公立公的医療機関 424 病院が再編合理化の名指しをされ、県内は9病院。1 月に「424　愛知共同行動」を結成し、県内の運動構築を行ってきた。2月以降は、コロナの中で、地域医療構想の具体化は一旦、足踏み状態となっていた。しかし、20 年度予算では地域医療関係予算が組まれ、それらを使って水面下での病床削減や再編合理化の具体化は進んでいる!　全ての医療機関が、コロナ禍の中で、病床削減や機能転換の具体化を進めており、全体状況を注視して行かなければならない。愛知県内でも様々な計画が着々と進んでいる。秋のキャラバン行動を通じて、再度、地域医療を守る運動構築を進めて行こう!

愛知県医労連 池田執行委員（北医療生協労組執行委員長）

医療・介護の現場は、以前よりマンパワー不足の中で厳しい勤務条件にさらされてきた。コロナ禍の中では、様々な病院がコロナ受入れを行う中で更なる問題の深刻化が顕著となっている。医労連は、医療・介護労働者を大幅に増やせ！と様々な運動に取り組んできた。秋から始まる「新署名」も、組合員1人10筆の達成を目指し、県内 12万筆を目標に奮闘したい。コロナ感染症対策では、「110 番」相談活動や、医療・介護現場の切実な要求を県に「緊急要請」を提出するなどして運動を強化してきた。

名古屋市国保をよくする会 保険医協会 日下 事務局次長

名古屋市国保の改善運動を継続して進めてきた。毎年の国保署名の力は大きな成果を生み出している。「資格証明書」の発行は、長年の運動により10月以降、「発行しない」と言う画期的な成果。しかし、滞納に対する「差し押さえ」件数は増加の一途。引き続き、制度改善に向けた署名運動を強化して行く。9/27 には「国保改善運動交流集会」を予定している。

会場発言

《名古屋市病院職員労組書記長大野さん》 名古屋市民病院の現状―指定管理者の緑市民病院、2つのセンター病院。2つのセンター病院を名古屋市立大学病院の附属病院化して行く方針（来年4月）が、市議会の委員会の中で約束させられた。詳細な内容が何も決まっていない中で、期日のみが約束させられるというとんでもない計画。今後の運動を検討しているので、支援をお願いしたい。

《医労連・南医療生協労組 柴田さん》 看護師・介護職員の増員で、働き続けられる医療・看護・介護の実現が必要！ 当院では、コロナ患者発生に伴い、職員の自宅待機等により休診や応援勤務など大変な状況を経験し、乗り切ってきた。しかし、夏のボーナスは昨年より半減！ これでは、安全・安心の職場とは言えない！何としても、署名を大きく広げて大幅増員を実現したい！

《愛知民医連事務局長 武田さん》

コロナ禍の中で、殆どの医療機関・介護施設の経営が危機的状況に陥っている。PPE（個人防護具）の深刻な供給不足問題では、必要な資材が供給できないという問題で、感染問題をさらに深刻化させてきた。また、病院への受診抑制が患者数の大幅な減少～診療報酬の大幅な減収へと影響は拡大してきた。コロナ受入れ病院の問題だけではなく、コロナ受入れをしていない医療機関での深刻な経営危機問題があり、医療・介護全体の危機的問題となっている。

《名古屋市職労えいせい支部執行委員 小田前さん》

全国で保健所の削減が進められてきた中、名古屋市では、16区全てに保健所機能を維持し、市民生活を守る運動を続けてきた。このコロナの問題も、基本は結核などの感染症と同様の対応が必要で、16 区全ての職場で結核感染症対応の経験を共有している保健師をはじめとしたスタッフがいるからこそ、様々な問題にも対応できている。しかし、7月以降の急激な感染者増では、一部対応が追い付いていない実態もある。さらなる増員とで保健所の抜本的な機能強化を求めて行きたい。

《社保協介護委員会―愛知民医連 渡邊さん》

『名古屋市の介護の充実を求める署名』に取り組む。「①保険料の引き下げ、減免、②要介護認定の委託を辞めさせる、③特養を増やし、待機者解消を！④介護職員の処遇改善への補助など、⑤個人防護具の安定供給、⑥国庫負担の引き上げなど国への改善要求」が要求内容となる。併せて、国会に向けた「介護制度改善署名」にも取り組んでいく。

《北医療生協 介護職員 鈴木さん》

このコロナ禍の中で、介護の現場では並々ならぬ不安と緊張の中で業務に従事している。職員も入所者もPCR検査は簡単には出来ず、今まで以上の厳しい職場環境の中で毎日を過ごす状況。介護の職場も大幅な減収があり、人手不足に拍車をかけかねない状況にひっ迫している。何とか、減収を補填し人出不足解消に向けて、介護保険制度の改善を要求し、署名運動を頑張る！

《年金者組合愛知県本部副委員長 加藤さん》

年金裁判を全国で取り組んでいる。名古屋地裁は11月に結審を迎える。「暮らせる年金は権利」を合言葉に運動に取り組んでいる。秋の運動では、2項目（年金改定での減額阻止、基礎年金の国庫負担を全員に保障）に絞った要求の国会署名に取り組んでいる。

《敬老パスと地域交通拡充で元気な名古屋をつくる会 事務局 田上 さん》

「敬老パス」は名古屋市の宝。来年2月から、年間 730 回へ利用回数制限導入の改悪！「市バス－地下鉄―市バス」の3つを乗り継いで往復すると、121日に大きく利用制限される！ 何としても制度改悪は許さない！ 運動を大きく広げて行きたい！

《「福祉予算削るな県民集会 実行委員会 》

県民集会の運動は、歴史的な運動となっている。このコロナ禍の中で、障がい者や、保育などの職場でも大きな問題・課題となっている。とりわけ、マンパワー不足の問題。配置人員の基準があまりにも低すぎる。最適基準を作らせる運動が必要！

《社保協副議長 澤田さん》

愛知自治体キャラバン実行委員会として、「新型コロナ対策アンケート」を県内全自治体に行い、「結果まとめ」を出した。自治体独自の創意工夫した施策も明らかになっている。大いに利用し、さらなる改善を求めて行き、県下全域、愛知県の施策として充実強化させていく運動が必要。

集会まとめ・行動提起 （知崎愛労連議長）

安倍政権が掲げた3本の矢は見事に折れた！ その中でも社会保障の充実は、真逆の方向に突き進んでいる！ 消費税を2度に渡り引上げ、国民経済に大混乱をもたらしている。政権が交替しても「自公政権」である以上、悪政は変わらない。何としても政治の転換を求めて、大きな運動が必要。本日の各組織・職場の実態と、秋の運動提起を受けて、大運動を進めて行きましょう！

＊集会後は、金山駅で「署名・宣伝行動」を元気よく行いましょう！

金山駅北口で「署名・宣伝行動」

２９名参加し１時間で１２４筆！すっご!!

＊参加者が、それぞれマイクで訴えました！

＊尾張健友会より、連帯の「一言カード」ポスター